

【学校教育目標】

ふるさとを愛し 心豊かで  
自らやりぬく生徒の育成

# 潮風



No.2  
令和2年  
5月21日(木)  
香美町立  
香住第一中学校



## 緊急事態宣言発令中



振り返ってみれば、4月7日の始業式に緊急事態宣言が発令され、翌週から後臨時休校になりましたが、兵庫県もようやく新規感染者数が一桁になってきました。

先週から登校可能日が設定出来るようになり、ようやく生徒と顔を合わせることができました。生徒の声が聞こえない学校が一月以上も続いていましたから、違和感が募るばかりでした。

その間、来たるべき学校再開に向けて、3密を避けるにはどうしたらよいかについて、対策を話し合ってきました。先週の登校可能日に、以下のような話を全校生徒にして、理解をお願いしましたので、保護者の皆様も

ぜひご理解くださいますようお願いいたします。(長文で申し訳ありません)

### 学びを止めないために…

令和2年5月13日

みなさん、おはようございます。校長の尾崎です。元気にしていましたか？

新型コロナウイルスの感染拡大で、誰も予想だにできなかった「緊急事態」に、全国的になってしまいました。

私たちの兵庫県は「特定警戒都道府県」の一つとなり、これまで感染者が毎日報告され、警戒されてきたことは、皆さんもニュースや新聞で知っているとおりで。

兵庫県は、感染者が報告され始めてから、最近ようやく、新たな感染者数が「一桁」になってきています。今朝の段階では「新規感染者数」が1人ということでした。しかし、「現在感染者数」が148人となっており、悲しいことに、亡くなられた方が34人もおられます。

もし、皆さんの親戚や知り合いの方で、感染で苦しんでおられる方や亡くなられた方が、兵庫県に、または他府県でもいらっしゃると思うと心が痛みますが、少し話を聞いてください。

まず、4月11日の土曜日から始まった臨時休校の期間中に、生徒の皆さんが、**外出の自粛**について協力してくれたことに対して、お礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、今、最前線で、コロナウイルスに感染した方の命を救おうと、必死に働いておられる、医療従事者の皆さんには、本当に頭が下がる思いです。生徒の皆さんの家族にも、このように、最前線で働いておられる方があることでしょう。**どうぞ家族を手伝って、助けてあげてください。**

中学生の皆さんは、医療従事者ではありませんから、それに関しては、具体的に手伝えることはないでしょう。ただ、考えてほしいのは、「**中学生には、本当に何もできないのだろうか。私たちは何もなくてよいのだろうか。**」ということです。これは、大人も一緒になって考えなければならないことです。

治療薬が完成していない以上、このウイルスへの対策は「**感染しないこと**」が最大の目標となります。できるだけ感染しないための方策として、

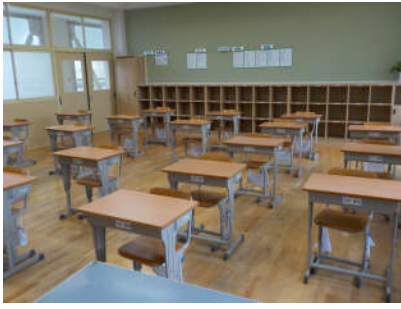
まず第一に、「密閉・密集・密接」の、「**三つの密**」を避けることです。

第二に、「**マスク**」。うつらないことと合わせて、うつさない努力もしなければなりません。

そして第三に、「**手洗いと手指消毒**」です。

幸いにも、但馬地域には感染者が出ていません。ですから、こうして登校可能日を設定することができました。でも、忘れてならないことは、兵庫県に感染者がいなくなって、ウイルスがなくなったということではない、ということです。**ウイルスは、すぐそこまで来ているのかもしれない。**





そんな中、学校が再開されないことで、皆さんの学習が進んでいないという、苦しい現状があります。このことが、皆さんの将来に及ぼす影響を考えたとき、「感染が完全に収まってから勉強しましょう。」とは言っていないことは、入試を控えた3年生の皆さんのことを考えれば、すぐにわかるはずです。

そんな苦しい状況の中で、設けられた登校可能日なのです。ですから、学校でも「三つの密」を解消し、皆さんを感染から守るための対策をしなければなりません。このウイルスは、いつ・だれが感染しても不思議ではないのです。

そこで、香住第一中学校でも、現在の学級の密集状態を、できる限り解消することを決断しました。具体的にどうするのかというと、

- 1年生の2クラスは、それぞれ39人ずついますから、これをまた半分に分けて4クラスにします。
- 2年生の2クラスは、少し少なく、それぞれ31人ずつですから、今ある2クラスを、3クラスに分けます。
- 3年生は3クラスあります。29人と30人のクラスですが、これをあと1クラス増やして4クラスにします。

こうすることで、一クラスに30人以上いた学級を20人程度に抑えて、密集を解消します。どのようにクラス分けをするかについては、学年の先生のお話を聞いてください。

始まって二、三日しか経っていない中で、せっかく始まった新しいクラスを、再度分けなければならない苦しさは、皆さんもそうですが先生方も同じです。どうかわかってください。しかし、クラスが一時的に分かれたとしても、あくまでも1組は1組、2組は2組、3組は3組です。

クラスみんなで集まって、バカな話をわいわいしたり、うれしいことがあったら抱き合って喜ぶことや、落ち込んでいる友だちのそばで励ましてあげることは、少しだけ難しくなるかもしれませんが、けれど、今、そばに居たいのを我慢して、距離を取って、お互いが思いやることを忘れなければ、近い将来、思いっきり、仲間と肩をたたき合える日が来るのです。

先に、「中学生だから何もできないのだろうか。」と言いました。

辛くても、学級を分けて一生懸命勉強すること、できる限りの対策をしながら、学校生活を精一杯送ること。このことが、私たちにできることではないでしょうか。

「やりたいことを少し我慢する。」そして、「できるようにになったら思う存分やる。」と決めて、今を我慢することで、自分を守り、友だちを守り、家族を守ることができるのです。このことは、今、医療の最前線で働いている人たちを、側面から支えることにもつながっていくのです。

このウイルスの感染が収束したら、すぐに、元のクラスに戻します。また以前のような、元気あふれる一中魂を、どうか、思う存分発揮してください。それまで、全校生徒・全職員で、日々の感染対策を習慣づけて、一中版の「新しい生活」を生み出していきましょう。



以上で、私からのお願いを終わります。

## 今後の予定変更にご理解ください



今回のコロナウイルス感染拡大で全中（全国中学校体育大会）、近中総体、全日本吹奏楽コンクールが中止決定されました。この後、県総体の扱いがどうなるか悩ましいところですが、あらゆる大会、コンクール、発表会等が中止や延期になってきています。

一中でもトライやる、修学旅行、わくわくオーケストラが延期になりました。学校内の行事も、学習の遅れを取り戻すためにかなりの見直しが必要になっています。

ただ、各種行事には大きな意義もありますので、一概に中止すればよいというわけにはいきません。難しいのが感染状況との関係です。

先が読めない状態ですが、子どもたちを中心に据えてよりよい決断をしていこうと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。